



ししまぎ

207号 2023年10月

生活クラブ・浦和東支部委員会

<https://club-urawa.sakura.ne.jp>

2023.9.28 生活クラブたまご生産者交流会のご報告！

2023年12月に岡部農場で鳥インフルエンザが発生し、卵の供給が不安定となりました。岡部農場は建替えが進み、卵も安定して届くようになりました。

Q. 卵はいつまで生で食べられますか？

賞味期限（生活クラブでは、採卵日から2週間）までです。届いたら冷蔵庫に入れること。卵は、高湿、高温に弱い食品です。賞味期限を過ぎても食べられますが、生食でなく加熱してください。

Q. 卵の黄身の色がオレンジに近いときがあります。餌にパプリカを入れていますか？

飼料にパプリカは入っていません。飼料の色が、食べて4日後ぐらいで黄身に現れます。飼料は全て、非遺伝子組み換えのものです。玄米を30%入れています。前期若鶏には栄養価の高い飼料を、後期鶏には、カルシウムの多いものを与えます。

Q. 鳥インフルエンザの対策は？

冬期間は、対策として鶏舎の周辺に、石灰を散布しています。



Q. 安全のためにどのようなことをされていますか？

鶏が病気にならないように雛にワクチンをうち、卵や便、飼料、鶏舎、に対して検査を行っています。1. サルモネラ検査 2. 血清検査 3. 賞味期限保存検査 4. 残留農薬と動物用医薬品 5. 放射能検査 生活クラブのホームページで、結果がいつでも見られます。

Q. 鶏はどのように育ち、卵を産むのか？

後藤寮卵場で育てられ、生後120日目ぐらいに生活クラブたまごへ来ます。そのぐらいから卵を産み始めます。産み始めは小さい卵です。それから、540日まで産み続けてくれます。だいたい、年に300個ぐらい。約540日で鶏を入れ替えます。



Q. 平飼いとケージ飼いの広さの違いは？

ケージ飼いの場合は1羽あたり43cm×43cm。平飼いは1坪(3.3㎡)に15羽。

Q. 平飼いの卵はどのように集めますか？卵が汚染されることはないですか？ 平飼いの小屋の中に産卵場所が用意されています。鶏は訓練され、そこで卵を産みます。産卵場所以外、土の上などに産まれた卵は廃棄されます。

近年の猛暑の中、餌を食べられなくなり、水しか飲めず、そして死んでしまうものも多くいるそうです。鶏舎の中は、送風のみです。



卵を産んでくれている鶏は、1年半ぐらしか生きることができません。安全な卵一つ食べるために、たくさんの方の努力や苦労、技術が詰まっています。私たちは、感謝して、さくらともみじが産む卵を予約してずーっと食べていきましょう。



浦和東支部のホームページや、Instagramから、いろいろな情報を発信しております。イベント情報や美味しいレシピ、地区の活動、消費材のことなど。皆さんの役に立つ情報です。ぜひ、一度のぞいてみてください。



浦和東支部ホームページ



Instagram



浦和東支部宛メール

浦和東支部
で検索してく
ださい

 [1561_higashi_no_katsudou](https://www.instagram.com/1561_higashi_no_katsudou)



さらに読み込む

 Instagram でフォロー

発行：浦和東支部委員会
編集：大谷場地区